



ひと

今月は、福岡からイターンで定住されて13年目。阿蘇での営み、子育て、地域活動と、どれをとっても一生懸命さが光る橋口靖さんをご紹介します。

橋口靖氏

イターン者 橋口さんにインタビュー

Q 阿蘇市に定住を決められたきっかけと、住み始めた当時の心境などを教えてください。

20代の頃、自転車で日本全国ツーリングしていて、そのとき将来住むなら絶対阿蘇がいい、こんな自然の中で暮らせたら幸せだろうなと思いついた。38才で脱サラして阿蘇に来ましたが憧れの地での毎日の生活は充実感でいっぱいでした。特に西小園地区の住民の方たちには温かく受け入れてもらいとても嬉しかったです。



▲自作のログハウスと後ろが作業場(西小園)

Q 「阿蘇に住んでよかった」と言われる橋口さんですが、これまでたくさんさんの経験をされたと思います、特に印象に残っている事を教えてください。

私の場合、郷にいれば郷に従える考えで地域の習慣、風習を全面的に受け入れたので特に問題なく田舎ぐらしを始めることができました。ただ私の身勝手がこの地に来たので、当時小学生だった2人の子どもが馴染んでくれるか心配でした。でも、子どもはそんな心配は要りませんね。地元の小中、高を無事卒業して巣立っていきました。地域の集まりにも子どもがいたおかげで橋

Q 阿蘇市が今後「定住化構想」を進める中で、鍵となる点を教えてください。

当時、私が阿蘇に住みたいと思った時に、どこでその情報を知ればいいのか判りませんでした。最終的に町役場に尋ねて今の場所を決めたわけですが、阿蘇に住みたい方たちへの情報の窓口がなかったですね。

阿蘇への定住を目指している人は数多くいます。阿蘇が本当に好きな人やいろんなジャンルの人が集まってくると町も活気づいてくるように思えます。町は「人」が作り上げるものですから、ぜひ、定住化への取り組みはがんばっていただきたいと思っています。

Q 仕事を通じて阿蘇の魅力を発信されたり、いろんな奉仕活動されていますね。ASO環境保全基金の募金箱も橋口さん手作りで大変温かな作品ですが…

私は現在木工をしています、



▲作品が並ぶあるアトリエ(ギャラリー内)

その仕事を通して阿蘇に来られた方に阿蘇の自然に触れる体験を行っています。現在グリーンストックさんの農村体験、はな阿蘇美さんの木工体験で、阿蘇の素晴らしさを語り阿蘇ファンを増やしていこうと思っています。

Q 最後にこれからの目標を教えてください。

今、ASO田園空間博物館のボランティア会員として活動中です。阿蘇の景観だけに憧れて来たのですが、阿蘇の自然文化は知れば知るほど奥深いということに気づきました。その素晴らしい阿蘇の魅力を少しでも多くの方に伝えていければと思っています。



プロフィール

橋口靖さん
(51歳、西小園)
職業 木工業
「あそ工房」主宰